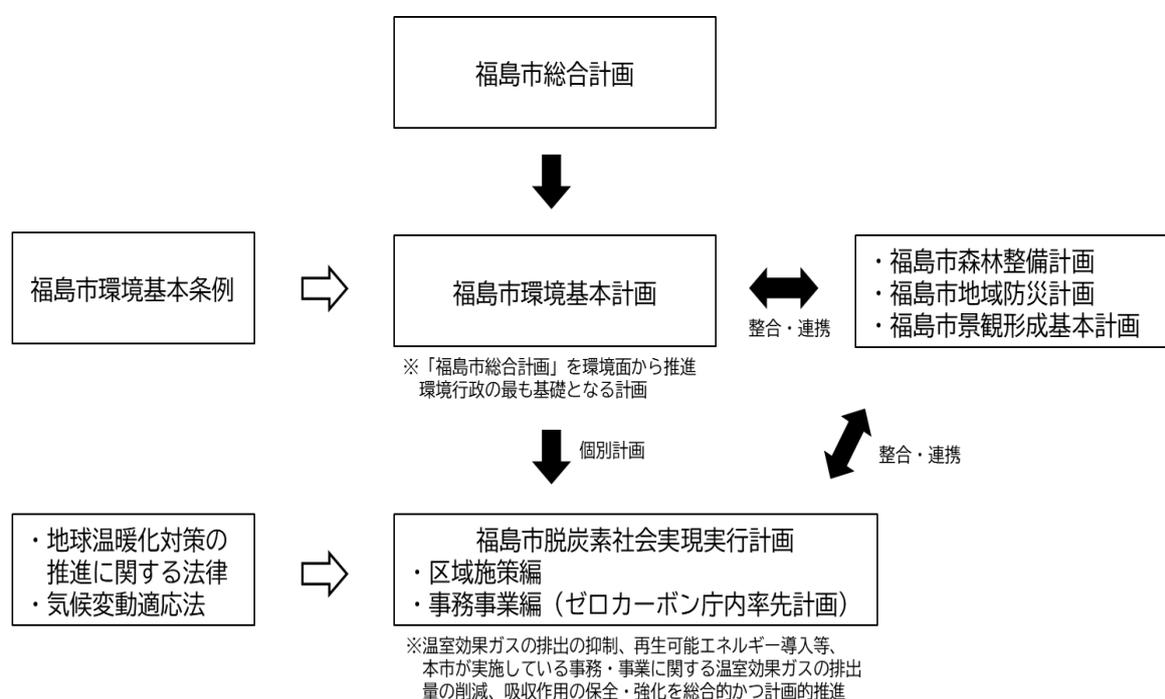


## 環境基本計画の策定及び脱炭素社会実現実行計画の中間見直しについて

総合計画を環境面から推進するための「環境基本計画」が2025年度に計画期間の終期を迎えるため、国内外の情勢の変化や本市が直面している課題、市民や事業者のニーズを明らかにし、今後の環境政策のあり方を示す新たな環境基本計画を策定する。

また、上位計画の策定に合わせて、脱炭素社会の実現を目指し、2050年度までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成するための施策や具体的な取組内容を推進するための「脱炭素社会実現実行計画」の中間見直しを行う。

## ○環境基本計画と脱炭素社会実現実行計画の位置づけ



## ○環境基本計画と脱炭素社会実現実行計画の計画期間



## 1 環境基本計画の策定について

### (1) 計画の位置づけ

新たな環境基本計画は、環境基本条例の基本理念に基づき、市民、事業者及び行政等が一体となって環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進することにより、福島豊かな自然を守り、人と自然が共生し、環境への負荷が少ない快適で持続的な発展が可能な都市を目指して策定する。

また、新たな環境基本計画は、2021年2月策定した現行の計画における施策・事業の評価を踏まえ計画の見直しを行うとともに、環境をめぐる社会情勢の変化に対応した新たな課題、望ましい環境像、施策の基本方針、施策体系等を定める。

### (2) 計画の期間

2026年度～2030年度（5か年）

※環境の変化や社会情勢等の変化に適切に対応できるよう、現行の計画期間と同じ5年間とする。

## 2 脱炭素社会実現実行計画の中間見直しについて

市民、事業者及び行政等が一体となって温室効果ガスの排出抑制や本市の地域特性にあった再生可能エネルギー導入の具体的な取組の施策を総合的かつ計画的に推進することや気候変動の影響による被害の防止・軽減等のための施策を中長期的な視点で計画的に進めてきた。

今般の福島市環境基本計画策定にあたり、本計画においても、地域特性や温室効果ガスの排出状況、再生可能エネルギーの導入状況等の分析を行い、指標の見直しや施策の位置づけなど2026年度以降の取組について具体化を図る必要があるため、本計画の見直しを行う。

### 【参考】温室効果ガス実質排出量及びエネルギー自給率の現状と目標値

	基準値	実績値	目標値	
	2013年度	2023年度	2023年度	2030年度
温室効果ガス 実質排出量	2,391千t-CO <sub>2</sub>	1,881千t-CO <sub>2</sub> (2021年度)	1,812千t-CO <sub>2</sub> (2021年度)	1,075千t-CO <sub>2</sub> (2028年度)
エネルギー 自給率（電力）	23.5%	46.5%	46.7%	63.0%

### 3 計画の策定・見直しにおける基本的な考え方

福島市環境基本計画 2021年2月策定	福島市脱炭素社会実現実行計画 2021年2月策定 2023年8月改定
目次 はじめに	目次 はじめに
第1章 計画の基本的事項 第2章 環境の現状と課題 第3章 みんなで目指す環境都市像と 施策の体系	第1章 計画の基本的事項 第2章 福島市の地域特性 第3章 温室効果ガスの状況 第4章 温室効果ガスの削減目標
第4章 施策の展開 第5章 計画の推進	第5章 脱炭素社会実現に向けた取組み 第6章 計画の推進

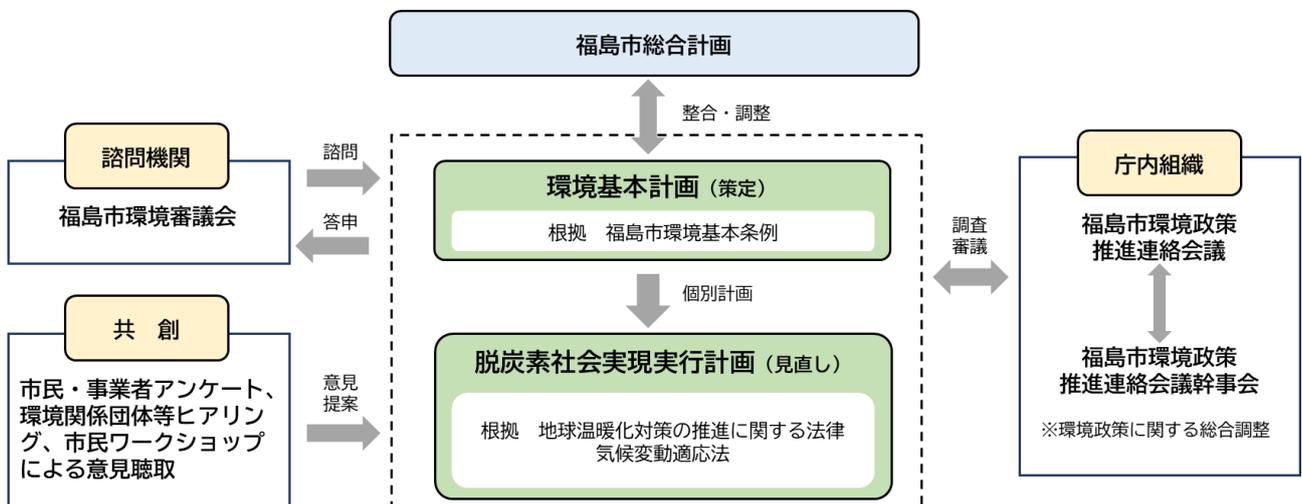
計画の策定・見直しにあたっては、以下の内容を中心に議論していく。

- ・現状と課題認識
- ・目指すべき持続可能な社会の姿
- ・今後の環境施策が果たすべき役割、環境施策の展開の基本的な考え方
- ・環境施策の手法

- ・今後の環境施策の重点としてどのような分野が考えられるのか、その大きな方向性

### 4 計画の策定・見直し体制

計画の策定・見直しにあたっては、総合計画等との整合・調整、庁内組織（福島市環境政策推進連絡会議（幹事会））での調査・審議、諮問機関（福島市環境審議会）への諮問・答申に加え、市民共創の観点から市民・事業者アンケート、環境関係団体等へのヒアリングを実施するほか、次世代を担う若者を対象とした市民ワークショップを新たに開催し、各主体（市民、事業者、行政等）の実行性をもった計画とする。



5 市民・事業者アンケート

	福島市環境基本計画 関係	福島市脱炭素社会実現実行計画 関係
市民向け	(1) 回答者の属性 性別、年齢、家族構成、居住形態 など	
	(2) - 1 環境全般について ①環境問題（環境危機）に対する関心 ②市の環境に関する取組（自然・生活・地域・地球環境、ごみ処理・リサイクル、原子力災害対策など）の満足度、重要度 ③日常生活のなかで環境を守るための取組（省エネ・再エネ・ごみ・環境保全）の状況、必要性、市民の役割 ④福島市、事業者の役割への期待 ⑤次期計画に望む福島市の環境像のイメージ ⑥SDGsに関する取組方針 ⑦環境価値の高い財・サービスの購入、グリーンイノベーションに対する考え ⑧環境の取り組みによる「ウェルビーイング／高い生活の質」の実現への期待 ⑨ノーモア メガソーラー宣言について（認知度、重要度）	(2) - 2 地球温暖化・再生可能エネルギーなどについて ①家庭でのエネルギー利用状況 ②地球温暖化への関心 ③温室効果ガス排出量削減に必要な取組 ④日常生活における省エネルギーに関する取組状況、取組意欲 ⑤大規模太陽光発電施設についての考え ⑥水素エネルギーへの期待 ⑦市の地球温暖化防止に向けた対策への期待 ⑧脱炭素社会の実現性についての考え
事業者向け	(1) 回答者の属性 業種、事業形態、従業員数 など	
	(2) - 1 環境全般について ①環境問題（環境危機）への関心 ②市の環境に関する取組（自然・生活・地域・地球環境、ごみ処理・リサイクル、原子力災害対策など）の満足度・重要度 ③環境に関する取組状況・効果・必要性 ④環境に対する企業の考え・方針（ <u>経済的競争能力投資（環境人材育成、市場調査、環境価値マーケティング等）</u> ） ⑤福島市、事業者の役割への期待 ⑥次期計画に望む環境像のイメージ ⑦環境の取り組みによる「ウェルビーイング／高い生活の質」の実現への期待 ⑧ノーモア メガソーラー宣言について（認知度、重要度）	(2) - 2 地球温暖化・再生可能エネルギーなどについて ①事業所のエネルギーの利用状況 ②地球温暖化への関心 ③温室効果ガス排出量削減の取組状況 ④温室効果ガス排出量削減に取組む理由 ⑤温室効果ガス排出量削減の取組みの課題 ⑥大規模太陽光発電施設についての考え ⑦水素エネルギーへの期待 ⑧市の地球温暖化防止に向けた対策への期待 ⑨脱炭素社会の実現性についての考え

## 6 計画策定スケジュール（案）

### 〈2024年度〉

- 9月 **庁内**福島市環境政策推進連絡会議（策定方針、要綱決定）
- 10月～3月 アンケート調査、庁内各課取組状況調査、環境関係団体等ヒアリング、市民ワークショップ、各種データ収集及び調査、他計画等との整合など

### 〈2025年度〉

- 5月 **庁内**福島市環境政策推進連絡会議（計画素案協議）  
**福島市環境審議会**（諮問・計画素案審議①）  
→ 計画諮問、計画の構成、望ましい環境像など全体概要 など
- 7月 **福島市環境審議会**（計画素案審議②）  
→ 施策の展開（指標の設定）、計画進行体制、点検方法 など
- 10月 **福島市環境審議会**（計画素案審議③）  
→ 計画答申案の決定
- 11月 **福島市環境審議会**（答申）
- 12月 パブリックコメント実施（1か月）
- 2月 **庁内**福島市環境政策推進連絡会議（計画決定）